

# KOSHIN 散粒機 HD-8 取扱説明書 (手動式)

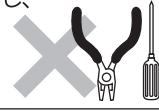
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。本書はいつでも見られるように、大切に保管してください。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- ⚠ **危険**：人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される項目
- ⚠ **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目
- ⚠ **注意**：人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される項目

|           |                                                        |                                                                                   |                                                                |                                                                                   |
|-----------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>危険</b> | 使用する薬剤については、<br>薬剤の取扱説明書を十分に<br>お読みの上、正しく使用して<br>ください。 |  | 安全の為、作業中は保護マスク、<br>保護メガネ、保護衣、作業帽、<br>不浸過性の手袋、作業靴を<br>着用してください。 |  |
|-----------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|

|           |                                                                                                                                    |                                                                                   |                                                                                                                           |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>警告</b> | 改造・分解は絶対にしないでください。<br>故障や異常動作を引き起こし、<br>けがの原因となります。                                                                                |  | 作業する前に、必要な点検を必ず行って<br>ください。接続部はしっかり締まっているか。<br>タンクのフタはしっかり締まっているか、等<br>の点検を忘れないでください。<br>点検をおこたると、薬液が漏れて思わぬ事<br>故につながります。 |
|           | タンク内に薬剤を入れたまま保管しないで<br>ください。使用後は、タンク内に残った薬剤<br>を抜いてからよく掃除し、子供の手の届か<br>ない、直射日光の当たらない場所に保管して<br>ください。本機の故障の原因または、事故に<br>つながる恐れがあります。 |                                                                                   | 幼児・子供が触れないよう、安全な場所で使用<br>してください。ケガや事故の原因となります。                                                                            |
|           | 薬剤が人体、家畜にかからない様に、また、<br>川、池、沼などを汚染しない様に風向き周囲<br>の状況を十分に確認の上、使用してください。                                                              |                                                                                   | 少しでも体調が悪くなった時はすぐに医師<br>の診断を受けてください。                                                                                       |
|           |                                                                                                                                    |                                                                                   | 薬剤に被爆した時(皮膚にかかった等)は、<br>薬剤の取扱説明書に従い適切な処置を行<br>ってください。                                                                     |

|           |                                                                                                              |                                                                                                              |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>注意</b> | 作業終了後は器具や着衣類を全てよく洗い、<br>作業後も入浴するか、手、足、顔等を石けん<br>でよく洗い、うがいをしてください。作業時<br>の薬剤が付着したままですと健康を害する恐<br>れがあります。      | 安全性を損なう恐れがありますので、発熱<br>性の薬剤は使用しないでください。                                                                      |
|           | 動かなくなったり、異常がある場合は事故防<br>止のため、直ちにご使用を中断して、お買<br>い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。<br>そのまま使用されますと、思わぬ事故等<br>につながる恐れがあります。 | 飲酒時、過労、病気や妊娠している時は、<br>作業をしないでください。このような時に作<br>業を行うと、誤操作などで思わぬ事故を引<br>き起こします。作業する時は、必ず心身とも<br>健康な状態で行ってください。 |
|           | 製品を清掃する場合は、顔等に薬剤がかか<br>る恐れがありますので、必ずタンク内に薬剤<br>が入っていない事を確認の上、風向きなど<br>に気をつけて行ってください。                         | 人に本機を貸す時は、取り扱い方法をよく<br>説明し、使用前にこの取扱説明書をよく読<br>むように指導してください。借りた人が本機<br>を誤った使い方をし、思わぬけがなどをす<br>ることがあります。       |
|           |                                                                                                              | 炎天下で長時間作業しないでください。作業は、<br>風の強くない、朝夕の涼しい時間を選んでください。                                                           |

1

## 故障と処置

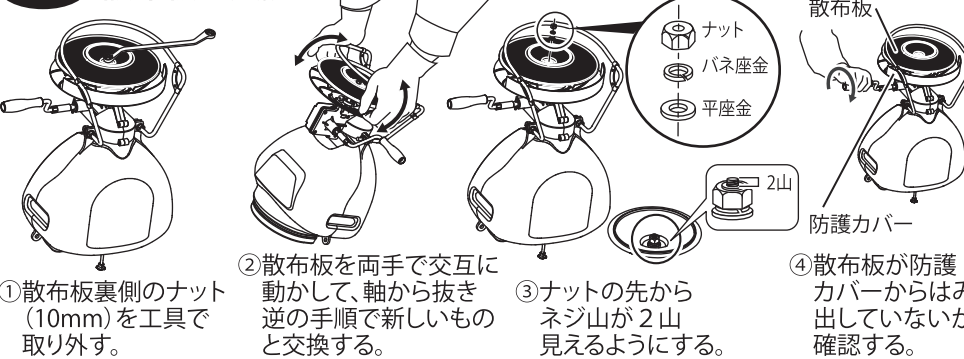
| 症状                    | 原因                      | 処置                 |
|-----------------------|-------------------------|--------------------|
| 散布量が少ない<br>散布できない     | 散布量調整レバーが閉じているまたは開度が小さい | レバー位置の調整           |
|                       | タンク底から散布板までの通路の詰まり      | 清掃 → <b>処置A</b>    |
|                       | 散布板の破損                  | 交換 → <b>処置B</b>    |
|                       | 保護カバーの変形・破損             | 修正・修理 → <b>処置C</b> |
| ハンドルが回りにくい<br>または回らない | タンク底での異物のかみ込み           | 清掃 → <b>処置A</b>    |
|                       | ギヤケース内の破損               | 交換                 |
|                       | 散布板が防護カバーと干渉している        | 修正 → <b>処置C</b>    |
| 調整レバーが閉まらない           | タンク底での異物のかみ込み           | 清掃 → <b>処置A</b>    |
| ギヤケースからの異音            | ギヤの破損                   | 修理・交換              |
| 本体が倒れやすい              | フレーム取付部のナットのゆるみ         | 締め付け               |

### 処置A タンク底・薬剤通路の清掃

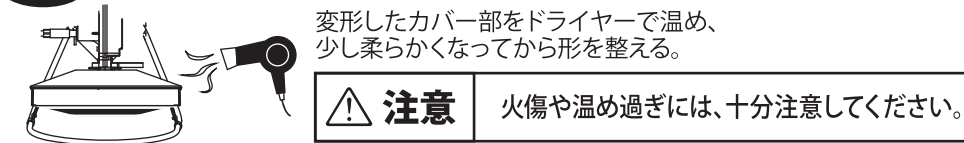


**注意** 異物が取れない場合は、無理に取り除こうとしたり、分解せずに修理を依頼してください。

### 処置B 散布板の交換



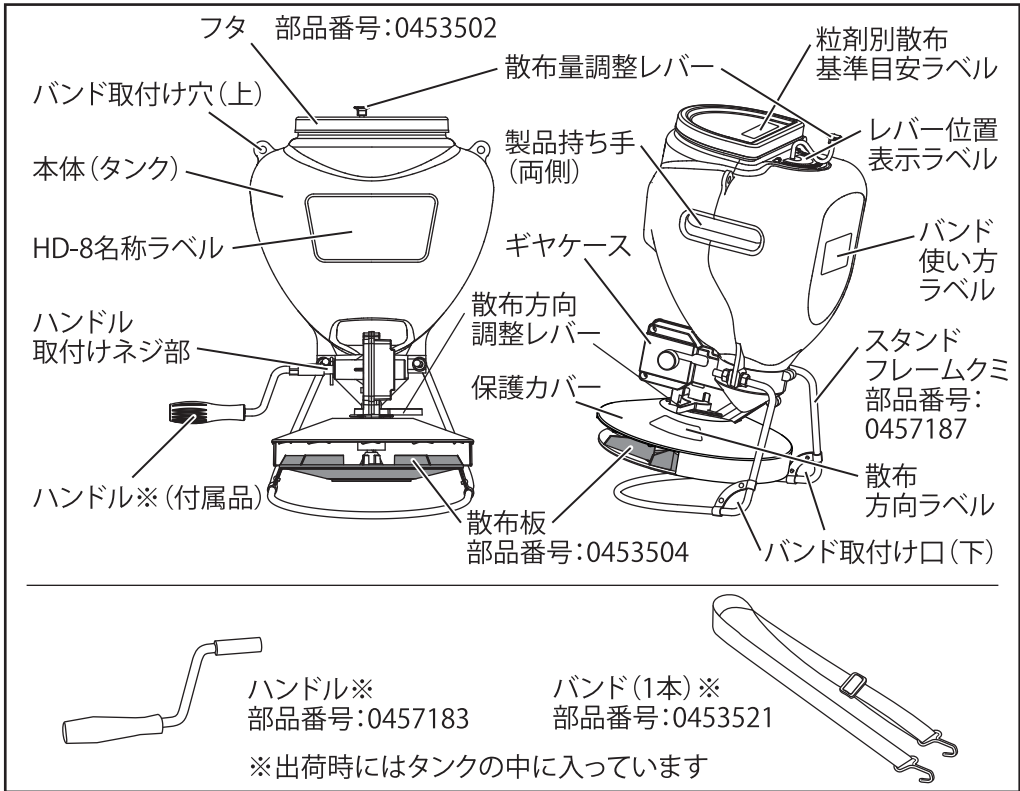
### 処置C 防護カバーの修正



**注意** 火傷や温め過ぎには、十分注意してください。

3

## 各部の名称と付属品



ハンドル※ 部品番号：0457183  
バンド(1本)※ 部品番号：0453521

※出荷時にはタンクの中に入っています

## 仕様・性能

|                |                    |
|----------------|--------------------|
| 機 種 名 / 名 称    | HD-8 / 散粒機(手動式)    |
| 薬 剤 タ ン ク 容 量  | 8 L                |
| 散 布 幅          | 約 5 ～ 7 m ※        |
| 製 品 重 量        | 1.9 kg             |
| 本体寸法 (奥行×幅×高さ) | 280 × 275 × 440 mm |

※散布幅は粒径2～3mmの化学肥料を使い毎分70～80回転でハンドルを回した時の目安です。使用する薬剤の種類やタンク内の薬剤の状態によって散布幅は変化します。

## 工進 お問い合わせ相談窓口

- 製品についての取扱い方法・商品選定、
- 購入後1年以内の製品で故障かな?と思ったら...

<http://www.koshin-ltd.co.jp>

ご購入より1年間は保証がございます。ご購入日がわかるレシート等を保管してください。

株式会社 **工進** 本社・工場 〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12

2

15-02 045369401

## パーツ

パーツはお買い上げの販売店を通じてご注文いただけます。部品番号、部品名を確認の上、販売店にご依頼ください。  
弊社ホームページよりパーツ表、価格をご覧いただけます。  
付属品はP.2各部の名称と付属品でも部品番号、部品名をご確認いただけます。

工進ホームページ <http://www.koshin-ltd.co.jp>

## 保 証 書

持込修理

保証期間 1 年間 (お買い上げ日より)

| 機 種   | 散粒機 (手動式) | ※お買い上げ日 | 年 月 日  |
|-------|-----------|---------|--------|
| 機 種 名 | HD-8      | 〒       |        |
| お 客 様 | ※お名前      | ※販 売 店  | 住所     |
|       | ※ご住所      |         | 氏名     |
|       | 電話 ( )    |         | 電話 ( ) |

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。  
保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、販売店にお問い合わせください。

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただきお買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
  - 〈イ〉使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - 〈ロ〉お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
  - 〈ハ〉火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、異常電圧等による故障または損傷。
  - 〈ニ〉本書のご提示がない場合。
  - 〈ホ〉本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - 〈ヘ〉消耗品は有料修理となります。
  - 〈ト〉車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障または損傷。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしておりません。
- 本書は日本国内についてののみ有効です。

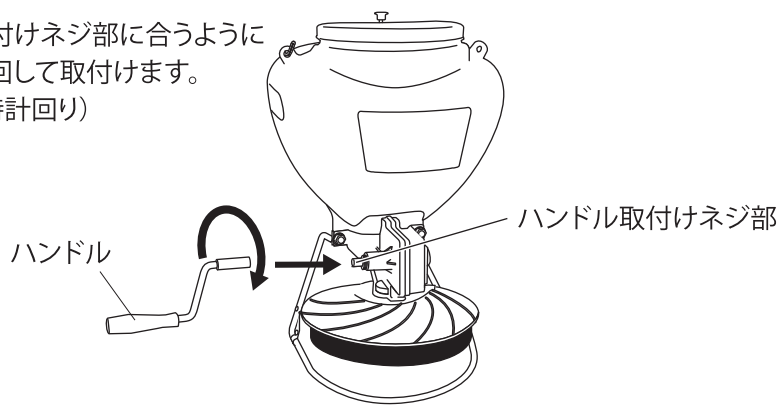
株式会社 **工進** 京都府長岡京市神足上八の坪12

4



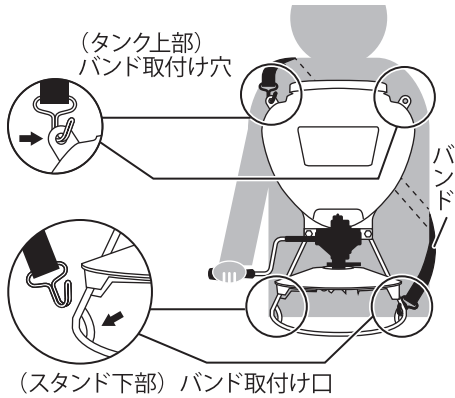
① ハンドルを取付ける

ハンドル取付けネジ部に合うように  
ハンドルを回して取付けます。  
(右ネジ・時計回り)



② バンドを取付け、調整する

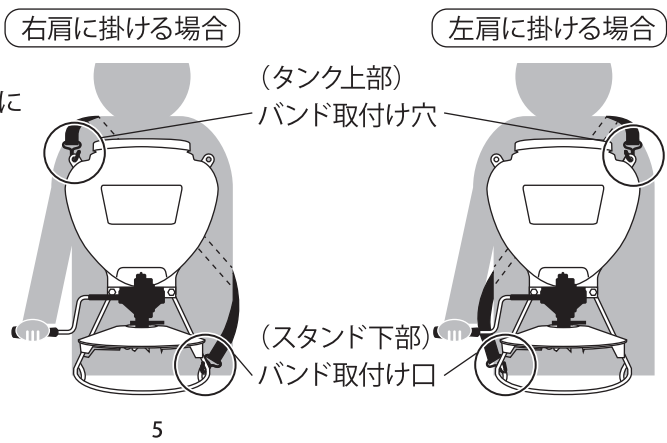
- ① (タンク上部) バンド取付け穴に  
バンドをかけます。
- ② バンドを首に掛け、製品を図の  
ように前にかかえてください。
- ③ バンドをたすき掛けにして、  
(スタンド下部) バンド取付け口に  
バンドのもう片方を掛けます。



**注意** バンド調節はタンクをおろして行ってください。

〈バンドの掛け方を  
左右逆にする方法〉

バンドがたすき掛けになるように  
取付けてください。



① 薬剤を入れる前に確認する

薬剤を入れる前にタンク内のゴミを  
よく取り除き、薬剤もよく乾かしたものを  
ご使用ください。



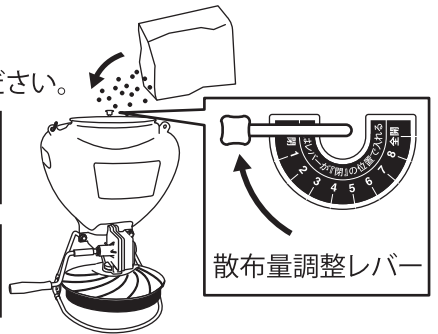
**注意** 薬剤が湿って固まってしまった  
ものは使用しないでください。

② 薬剤を入れる

散布量調整レバーを「全閉」に合わせてください。  
ご使用になる薬剤を入れ、しっかりフタを閉めてください。

**注意** 薬害の恐れがあるため、肥料と  
薬剤の兼用はしないでください。

**注意** 薬剤を残さないよう  
使いきる分のみ入れてください。



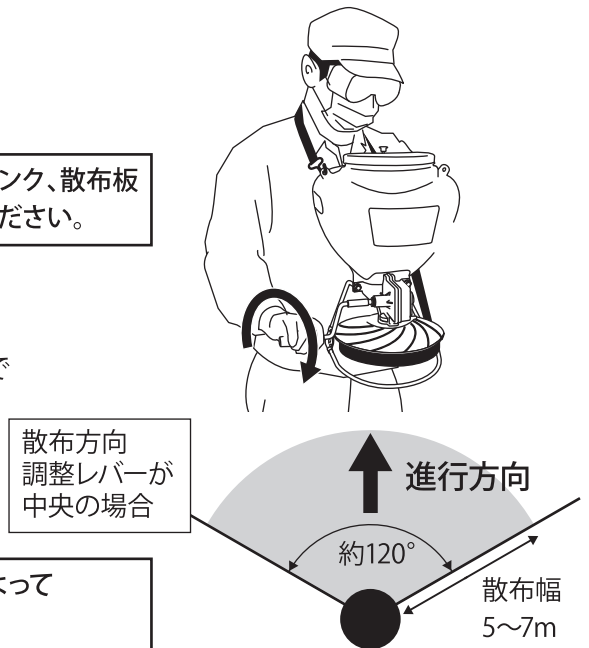
③ 散布する

散布は右図のように、  
バンドで本体を体に固定し、  
ハンドルを回して行ってください。

**注意** ハンドル回転時にはタンク、散布板  
内に手を入れないでください。

〈散布イメージ〉

ハンドル回転スピード70～80回転/分で  
散布した場合、散布幅目安5～7m。  
散布方向調整レバーを中央に設定  
した場合、進行方向に向かって  
約120° 範囲で散布できます。

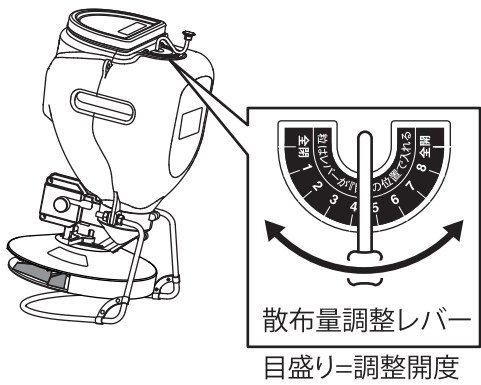


**注意** ご使用になる薬剤によって  
異なります。

④ 散布量を調整する

〈散布量調整レバーの操作方法〉

「全閉」～「全開」まで  
8段階に薬剤の量を調整できます。  
使用する薬剤で調整してください。  
ゆっくり(約20m/分)歩きながら、ハンドルを  
70～80回/分のスピードで回転させた場合の  
散布量調整レバーの「調量開度」の目安です。  
お客様の作業条件に合わせて「調量開度」を  
調整してください。



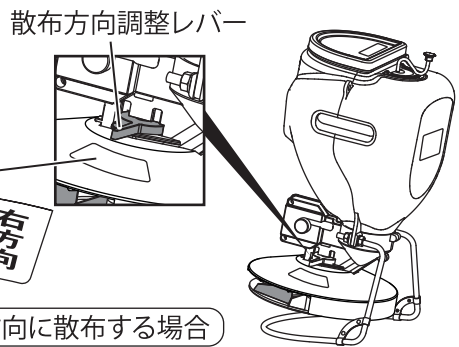
〈粒剤別散布基準目安表〉

| 粒 剤 名       | 1kg粒剤 | 細粒剤 | 尿素 | 化学肥料 |
|-------------|-------|-----|----|------|
| 散布量(kg/10a) | 1     | 3   | 4  | 15   |
| 調 量 開 度 目 安 | 2     | 3～4 | 4  | 7    |
| 散布幅目安(m)    | 5     | 5   | 5  | 7    |

⑤ 散布方向を調整する

〈散布方向調整レバーの操作方法〉

使用する薬剤の粒の大きさや、  
重さ、散布量によって、  
散布方向が異なるため  
レバーで方向を調整して  
ください。

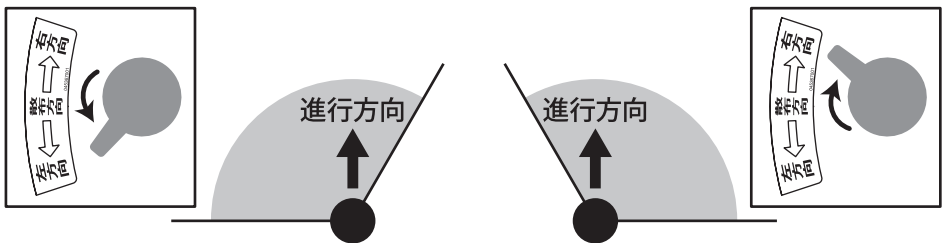


左方向に散布する場合

散布方向調整レバー 左方向

右方向に散布する場合

散布方向調整レバー 右方向



**注意** 散布する粒剤によって異なります。散布状態に合わせて調整してください。

⑥ 散布を止める

ハンドルを回した状態で  
先に散布量調整レバーを「全閉」にし、  
散布板の粒剤が全てなくなったことを確認し、  
ハンドルを止めてください。



**注意** 「全閉」にする前にハンドルを止めてしまうと  
粒剤が散布板に流れ落ちる状態になります。

- ・薬剤がタンク内に残ってしまった場合は、薬剤を元の袋か別の安全な容器に移してください。
- ・各部品(フタ・ハンドル)を取り外してよく掃除してください。
- ・本体は、水による洗浄は行わないでください、故障の原因になります。  
湿ったタオル等で汚れなどを拭き取った場合は、本体をよく乾かしてから  
保管してください。

